

提出日 2023 年 3 月 18 日

海外留学成果報告書

【参加者A】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|----------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 経済経営 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|--|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | <p>私が海外研修を希望した理由は、中学生の頃に英語に興味をもち、それをきっかけに留学に行きたいという意志がずっとあったからです。その思いを抱きながら大学に入学しましたが、コロナウイルスの流行により、なかなか留学に行くという機会に触れることができませんでした。しかし、今回でやっと行けるようになり、その上3回生は優先的に応募できるということもあり、すぐに応募しました。</p> <p>留学での目標は、英語力の向上もちろんありますが、1番は楽しく過ごすことでした。</p> <p>理由は、自分の人生にとっていい経験にしたかったので、勉強ばかりに目を向けず、日常生活から楽しむことを心がけていました。</p> |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | <p>現地での生活の流れは、7時に起床して、8時に登校して、8時半から授業が始まり、12時半に終了でした。</p> <p>休憩は大体ですが、10時半から11時でした。授業内容は、クラスによって違いましたが、ライティング、リーディング、リスニングなどを外に出て感じたり、グループディスカッションをしたり、アクティブな授業が多かったため、とても楽しく学ぶことが出来たと思います。</p> <p>授業が終われば、大学内にあるお店や、街に出たりして昼食を取っていました。大学内のお店はたくさんあり、中華料理、日本料理、ハンバーガーなど様々な料理を食べることができました。昼食後は、バスで、スーパーやビーチなどたくさんの場所に出かけました。</p> |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | <p>目標の達成度としては、無事に達成することが出来ました。</p> <p>私は、はじめての海外ということもあり、街の景観や自然などの全てが新鮮に感じました。毎日が、はじめての経験でとても充実して過ごすことが出来ていました。しかし、私は英語がほとんど喋ることも聞き取ることも出来ないの、言葉の壁というものを感じました。そのため、この先うまくやっていけるのだろうかと不安になる日もありました。</p> <p>しかし、その不安も解消できたのは現地の人たちの温かさや、生活する上での慣れが大きく、無事に乗り越えることが出来ました。それもオーストラリアは多民族国家ということに理由があるのかと思いました。</p> <p>オーストラリアでは、お店の閉まる時間とても早く、だいたい16時から17時の間に閉まるお店が多いように感じました。仕事が終わると家族で過ごす時間を大切にしていました。スーパーなどのレジなどでは、椅子に座りながら接客をしていたり、軽い会話をしたりなど日本ではあまり見られない光景がありました。</p> |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | <p>私は今回の海外研修を通して充実した生活を送ることができ、楽しい気持ちでいっぱいでした。その反面、英語力が今よりもっとあれば、相手の伝えたいことを理解できたり、自分の思うことを伝えたりできるのという申しわけない気持ちがありました。留学生活はとても楽しかったですが、英語力がもっとあれば、さらに楽しい日々を過ごせたと思います。なので、私は帰国してから英語という言語にたくさん触れて、学び続けたいと思います。学ぶ以上は楽しく学びたいので、自分に合った勉強法を、今回の海外研修を参考にして、考え、見つけたいと思います。</p> |
| 5. 自由記述 | <p>バスなどの通学代(実費)の差があるのは、何か対策をするべきだと思いました。</p> <p>ホームステイ先などの生活で、当たり前だと思っていたことがそうでなかったりするので、留学プログラムに参加した生徒のアドバイスを、次に行く参加者に繋げて欲しいと思います。</p> |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 14 日

海外留学成果報告書

【参加者B】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|---|--|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 留学した理由は、2つあります。まず一つ目は自分のリスニング力、スピーキング力、コミュニケーション能力を知る為です。そして、英語力とコミュニケーション能力をさらに上げたいと思いました。二つ目は、大学卒業後に海外で働くことを視野に入れているのでそのためにどのような生活をしているのか、実際の英語はどのようなものなのかを知りたかったからです。それと、この大学には、留学をするためにきたので大学生のうちに行ってみたかったです。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 実際にオーストラリアでの生活は、平日は朝8時半から12時半まで授業を受けます。授業終了後は友達とご飯を食べたり、海に行ったり、買い物に行ったりして過ごしました。 そして、休日はシドニーや動物園など観光地に行き、現地がどのようなところなのかを見にいきました。私のホストファミリーは個人主義だったため、朝ごはんは自分で作り、夕ご飯は作ってくれたものを食べるという生活でした。食卓を囲んで一緒に食べることはほぼなかったですが、会った時には今日は何したの?と話しかけてきてくれました。そして、英語に詰まっていると翻訳とか使っても大丈夫だよ! 言いたいこと教えて! などと声をかけてくれました。学校では、先生とお話を積極的にしました。オーストラリアの英語はわかりにくいですがゆっくり喋ってもらって聞き取ることができました。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) | 目標の達成度は70%くらいだと思います。自分の英語力がとても成長したとはいえませんが、行く前よりは上がったと思います。来た初日はホストファミリーと話すのもあまりできなかったのですが、自分から話をするくらいスピーキング力は上がったと思います。そして、店員や学校の先生などが言っていることも最初よりは聞き取れるようになりました。 そして、オーストラリアでの生活がどのようなものなのかも知る事ができました。日本とは全然違ってとても面白かったです。オーストラリアは自然豊かで、みんなフレンドリーで優しいので、知らない人に質問してもちゃんと答えてくれるし、急に話しかけられる事もありました。海外に行ってみて異文化を学ぶことができ、英語を使ってコミュニケーションを取ることもできました。それと、日本での生活はありがたいのだと改めて日本の良さに気づくことができました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 今回オーストラリアに行ってみてもっと他の国も知りたいと思いました。やはり、母国語ではない言語で生活することは難しかったのですが、思ったよりもコミュニケーションができるのだと思いました。そしてオーストラリアの歴史や文化などを学んでいくうちに、日本と全然違って面白いなどと思いました。現地の人から話を聞いたり、日本の話をしたり、情報交換をすることはいいことだと改めて思いました。留学に行くには少し時間とお金がないので、もっと英語力を上げてワーキングホリデーなどで海外に行きたいと思いました。これからもこの経験をばねに英語力向上や異文化について学んでいきたいと思っています。 |
| 5. 自由記述 | 留学に行く前はすごく不安だったのですが、実際に行ってみてすごく楽しかったです。そして、学ぶことがたくさんあり、自分にとって視野が広がったと思いました。良い経験ができたと思います。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 23 日

海外留学成果報告書

【参加者C】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|---|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 中学生の頃から語学を学習する目的を実行に移したかったことに加え、現地の環境や文化・人に触れたいと考えていたため。就職活動にも活かせるよう、ホームステイ先の家族も含めクラスの方達とコミュニケーションをとり、能力を上げること。また、英語が話せないことを恥じずに自分の言葉で伝え切ることが目標であった。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 朝の8時半から昼の12時半までの授業を週に5日行った。授業では座学だけではなくオーストラリアの植物や動物など自然に関するものをたくさん教えていただいたり、キャンパス内を案内していただき、私たちが4週間快適に過ごせるようなプログラムにいただいた。ホームステイ先では私の話を最後まで聞いていただき、一生懸命自分の言葉で伝えられるよう努めることが出来た。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) | 4週間ということもあり、休日や放課後にKIUの仲間と遊ぶことが多く、オーストラリアやウーロンゴンを目で見て知る、という面では達成できたかもしれないがその分ファミリーと会う時間も少なく会話がなくなってしまう時があったのが少し惜しい所であった。オーストラリアに限らずだと思うが現地の方々には日本のように敬語文化がないためフランクで優しい方が大多数を占めていたと感じた。そのため自身も笑顔で街を歩くようになり、日本は固いなと感じた。ホームステイでは最初は全く何を行っているのか分からなかったが徐々に理解できるようになった。しかし、やはり聞き力が身につくまで話すことが難しく、小中高と学習してきた英語の発音では通じないことが多々苦戦した部分であった。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 初めての海外経験だったので、初めて異文化理解を身をもって体験できた。この経験からより多くの国へ渡航しその国の環境や文化に触れたいという思いが強くなったため、今後も海外渡航経験を増やし経験値を上げていきたいと思った。さらにコミュニケーションが英語でしかできなかったこの貴重な経験を無駄にしないために、残りの学生生活での学習や外部でも英会話のレッスンを受けてみようと考えており、少しでも英語が話せるという自分の強みになるよう活かしていこうと考えている。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 23 日

海外留学成果報告書

【参加者D】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|--|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私が留学を決めた理由は、英語力を高めたいのはもちろんのことですが、それよりも自分の中身を成長させたかったからです。私は本当はとても明るい性格なのに、人目を気にしたり、無駄に不安になったり、コミュニケーションをとることが苦手でした。そんな自分が嫌で、自分に自信をつけたいと思い、海外に行こうと思いました。団体行動に着いていくこと、新しい環境、友達作りなど、私の苦手要素が沢山詰まっているこの留学は、たった1ヶ月でも大きく成長させて貰えると思いました。色々なものを見て、自分の好きなように自由に生きる外国の方たちに刺激を受け、沢山の人の助けられながらも海外で生活ができたなら、とても大きな自信に繋がると思い、留学を決意しました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 平日は毎日学校がありました。私は比較的大学から遠い家にホームステイしていたので、毎日6:30に起きて、バスに乗って、8:30に登校していました。8:30~10:30授業、10:30~11:00休み時間、11:00~12:30授業という時間割だったので、放課後にたっぷり時間があり、毎日のようにビーチに泳ぎに行ったり、買い物に行ったりしました。ホストマザーの作る夜ご飯はとても美味しく一瞬で太りました。お風呂は時間指定は無かったものの、水の量などよく指摘されました。自分の部屋はすごく快適で、最初は眠れない日があるのではと心配していたけれど毎日すぐ寝られました。週末はほぼ毎週シドニーに遊びに行きました。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など | 目標の達成度はかなり高いと思いました。日本に帰国して、空港には妹が母とビデオ通話を繋いで迎えに来てくれていました。妹は出発日も空港でお見送りしてくれました。妹と母と話して1言目に、出発前と表情が全然違う！と言ってくれました。自分自身も、自分の好きな服装をしたり、日常の小さなことでも人目を気にせず挑戦したりするようになったと思います。それは自分に自信がついたからだと思います。英語力も、毎日起きてから寝るまでずっと英語漬けの生活をして、耳がすごく鍛えられたと思います。外国人は想像以上に個性を大事にしている、仕事よりも自分の時間や家族の時間を大事にしている、真面目すぎる日本人はもっと気楽に生きていいのではと感じました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 留学を通して、ずっと足が重かった海外ももっと行きたいと思うようになりましたし、もっと英語が好きになりました。自分の性格も良い意味で変わったと思います。私はもう4年生です。今回の留学は、私の目の前にある就職活動に対してとても背中を押してくれるものになったと思います。英語を頑張るモチベーションになり、これから不安な時や緊張する時も留学中に起こったハプニングより大丈夫だ、何とかかなると思えてすごく強くなりました。この留学経験を、勉強やアルバイト、日常生活、就職活動、さまざまな場面でたくさん思い出して、たくさん活かしていきたいです。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 23 日

海外留学成果報告書

【参加者E】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私は高校生の頃から、自由な時間が多い大学生のうちに留学を経験しておきたいと思っていました。英語力向上(TOEICの点数アップ)や、異文化学習、観光など留学でしかできない体験をしたかったからです。また、海外研修Aはグループ型のプログラムのため、初めてオーストラリアに行く私にとってとても心強かったです。そして、オーストラリアは多文化社会で、日本との時差も少ないため気軽に留学できそうだったので留学に行こうと決めました。コロナの影響で、思ったより遅く留学するかたちとなりましたが、在学中に行くことができて本当に良かったです。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 平日は毎日8時30分から12時30分まで授業があり、そこからは基本自由時間でした。私は夕方までには家に帰り、ホストファミリーと夕食を食べて、22時に就寝という生活を送りました。また、休日はホストファミリーと過ごしたり、大学の友達と遊びに行ったりすることが多かったです。シドニーや動物園、水族館を観光でき充実した休日を過ごすことができました。授業面では2週目からクラスが分けられて、他大学の友達と一緒に授業を受けました。授業でもオーストラリアの歴史や自然、動物について学ぶことができました。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | 私は留学を通して、語学力や異文化を学ぶことができました。それは、ウーロンゴン大学に通ったの他に、1ヶ月間1人でホームステイをしたことによって得られたものだと思います。初めは英語を聞き取るのが難しく大変でしたが、段々オージーイングリッシュにも耳が慣れてきて、ホストファミリーと会話をしていくうちに自然と英語が聞き取れるようになってきたり、スムーズにコミュニケーションをとれたりするようになりました。また最初は、初めての地で不安なことがたくさんありましたが、ウーロンゴン大学の先生をはじめホストファミリーなどが積極的に分からないことがないか聞いてくれたり、質問にも細かく答えてくださったのですぐに不安がなくなり、オーストラリア生活を楽しまることができました。オーストラリアは親切な人が多く、人の優しさに触れられた1か月でした。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 英語しか使えない環境で過ごし、耳も英語に慣れてきたのでこのままTOEICのスコアを上げたいと思います。さらに、留学では、旅行で学ぶことができない留学前の手続きや、日本と海外の文化の違いを多く知ることができたので、これからは自分でいろんな国に訪れられるようにしたいです。また、海外で過ごしたことによって、自分で問題を対処する能力や、逆境への強さ、バイタリティを身に付けられたと思うので、社会人になってもそれを活かしていきたいと思いました。 |
| 5. 自由記述 | コロナの影響で思ったより遅く留学に行くかたちとなりましたが、在学中に行くことができて本当に良かった。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 27 日

海外留学成果報告書

【参加者F】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私が留学したのは、語学力の上達と自分の実力を知るためです。小学生のころから海外の文化や英語に興味があり、大学に入学したら留学制度を使って海外に行こうと思っていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で2年間制限があり、3年目でやっと海外に行くことができました。今まで自分なりのやり方で勉強してきた自分の語学力が、英語圏に行くとどれだけ通用するのかを知ろうと思いました。また、初めての海外で自分の世界を広げるための留学でもありました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | オーストラリアに着いて、次の日の朝からウーロンゴン大学での授業が始まりました。最初の1週間はKIUから行った学生だけのクラスでしたが、2週目からは事前に受けたテストによってクラス分けされた、クラスでの授業でした。私のクラスはほとんどが日本人学生でしたが、みんなそれぞれに英語が得意な生徒で、中には半年から一年の長期留学にきている子もいました。クラスにはサウジアラビア、イラン、ネパール出身の人もいて、バイリンガルやトリリンガルの人たちからいい影響を受けました。このクラスで授業をしたことで成長もできたとし、自分の改善点も見つけられた気がします。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | 正直、語学力についてはあまり成長したと感じませんでした。もちろん、徐々に耳も少し慣れてきて、ボキャブラリーも少し増えたように感じますが、まだまだ1か月という期間は短いと思いました。それでも、ホストファミリーや現地ですぐにできた友達や先生の英語を真似して使ったり、それを応用したりすることで少しは自分の言いたいことが伝えられるようになったかなと感じます。また、オーストラリアでは、何もかも日本とは違って、映画や授業でそれは知っていても、実際自分で経験することで考え方が広がった気がします。現地の人たちもとてもフレンドリーで優しく、できれば日本に帰ってきたくなかったです。これから先、いろいろな国に行ってみようという気持ちが強まったし、またオーストラリアにも行って、次は長期滞在したいです。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 今回の留学で、とにかくやってみることの大切さを学んだ気がします。大学での授業も日常生活でも、言葉がうまく通じるかわからないという不安が常にある環境で、いかに勇気を出すかが大切だった1か月だったと思います。不安だから何も言わなかったり何もしなかったりすると、ホストファミリーとの関係も現地の方とのコミュニケーションも、うまくいかないことだらけでした。私は、今回の留学は1か月という短い期間だったので、やりたいことはやろうと思っていました。不安だからとなにもしないのではなく、助けが必要なら助けてもらいながらやりたいことをするのは大切だと感じたので、これから場所が日本であれ海外であれ、それを心に留めて過ごしていこうと思います。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者G】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|---|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 幼いころから海外に興味があり大学で留学するのが私の目標でした。中学、高校では英語に力を入れて勉強に励み実用英語検定などの資格を取るためのテストも積極的に受けてきました。高校生の頃になると英語を生かして活躍できる職場に就職することが私の夢になりました。今は航空関係の仕事に就きたいと考えておりそのためにも海外の様子や文化を直接自分で経験したいと考えました。また、私は2年次から英語特別クラスに所属し今までよりも日常的に英語を使った環境にいます。今の自分の実力を確かめるとても良い機会だと考えました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 初めの1週間は国際大学のメンバー15人と共に現地の先生とオリエンテーションを行いました。大学内をブッシュウォーキングしながらオーストラリアの鳥や植物について学びました。大学の施設はとても充実しており、まるで一つの街のようでした。2週間目以降はレベル別でクラスが分けられ新しい仲間と授業を受けました。私のクラスではリスニングとスピーキングの強化を目標とした授業がおこなわれ、日本にいる時と比べてはるかに発言をする機会が多かったように思います。放課後はフリーパスを使ってショッピングセンターに行ったりビーチに行ったりとリラックスした時間を過ごしました。ホームステイ先ではなるべくたくさん会話ができるように一日の出来事や日本についてのことを毎日話すようにしました。休日にはホストファミリーとアジアンスーパーに行っておにぎりや卵焼きを作ったり、一緒にシドニーの動物園にも行ったりすることもできました。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) | 学習面では普段の日常的な会話や授業に関してはほとんど不自由なく受け答えすることができたと思います。しかし、ネイティブの方同士の会話はまだまだ聞き取ることが難しくスピードの速い会話を聞き取れるようになることが今後の課題だと感じました。日常を通して感じたことは多様性と人柄の良さです。オーストラリアではいろいろな国の人が生活していてアジアの人も多くアウェイ感を感じることなく過ごすことができました。オーストラリアの人はとても気さくで優しくとてもあたたかい国だと思いました。また、文化の違いも味わうことができました。英語は日本語と違いあいまいな表現がなく素直な気持ちをストレートにつたえることができます。例えばThank you. や I love you. などシンプルではあるけれど愛のこもった言葉を何度も耳にしました。また、スキンシップも外国の文化のひとつだと思います。別れの際にはハグをしたりキスをしたり握手をしたり、日本ではそう言った文化は主流ではないのでどこか特別で素敵な文化だと感じました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | はじめて母国を長期間離れ新しい環境に置かれたことでさらにもっといろいろな国の文化に触れたいと思いました。この1か月全く知らない環境で会話の言語も違いマナーも違う生活を体験し、わからないことは一人で抱え込まずに誰かに助けを求め、失敗を恐れずチャレンジすることの大切さを学びました。日本でもいろいろなことに挑戦し、より一層英語力の向上を目指して日常的に英語を取り入れるようにしていきたいと思っています。初めての海外の生活は不安なことが多かったですがこれを第一歩としてさらに新しい経験ができるように精進していきます。また、英語に関してまだまだ完璧ではありませんがこの留学が自信につながったのでどんどん英語を使っていけたらと思います。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者H】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|---|--|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私が留学したのは、海外へ行くことが小さい頃からの夢だったからです。私は洋画をみるのが大好きで、吹き替えではなく、日本語字幕なしの英語で洋画を理解することが自分の英語学習においての目標でした。洋画を通して、海外の文化に魅力を感じるようになり、実際に見てみたいと思っていたので、今回海外研修でオーストラリアへ1ヶ月間滞在できたことは私にとって忘れられない人生のターニングポイントになったと思える経験でした。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | オーストラリアではホームステイ先のお家で暮らし、平日は現地の大学で授業を受ける生活でした。私が住んでいた場所は大学から少し遠かったため、毎日電車とバスで通い、海外の交通機関を利用したことはとても新鮮でした。大学内にはたくさんの飲食店やスーパーがあり、あらゆる場面で日本と異なる部分があり、毎日新しい発見がありました。授業はもちろん全て英語で、個人的にはリスニング力が鍛えられたように感じました。休日は友人とシドニーへ観光に行くこともあり、学習面、生活面共に充実した1ヶ月でした。 |
| 3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など) | 1ヶ月間留学をして、自分に今必要なスキルはリスニング力だとわかりました。なぜなら、相手の英語を聞き取ることができないと「話す」という次のステップにいけないからです。留学がはじまってすぐにそのことに気づき、授業では先生の英語を集中して聞き、わからない単語が聞こえたらすぐに調べるよう意識していました。結果的に今は留学当初よりもリスニング力が鍛えられたように感じました。留学前は初海外でとても不安でしたが、この1ヶ月間オーストラリアで過ごし、自分に少し自信がついたようにも思えます。そして、実際に英語を使ってみて、まだ自分に足りないものがわかり、まだまだ勉強が必要で、今回の経験が今後のモチベーションに繋がりました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | オーストラリアでの海外研修は、私にとって英語という言葉の必要性がわかった機会でした。自分のように海外に関心があり、留学中も楽しく過ごすことができた人は、今後の人生でも絶対に英語が必要になると思いました。留学が楽しかったという感情だけでなく、もっと上手に話せるようになりたい、また海外へ行って英会話に挑戦したいとも思いました。そして、今まで私は知らない環境へ行くことに対して不安な気持ちになりがちでしたが、これからは知らない環境に対して、きっと楽しいことが待っていると少し期待できる気がしました。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者1】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私は英語のコミュニケーション能力(スピーキングとリスニング)を向上し、日本にはない価値観や文化に触れたいと思いこの留学に参加した。どれだけ英語を勉強していても日本の中で英語を使う機会はあまりない。そのため今自分がどのくらいの英語のコミュニケーション能力を持っていて、さらに向上させるためにどんな勉強が必要か知りたいと思った。また、オーストラリアはたくさんの人種の人々が住んでいる国なので、実際にその文化に触れることで新たな価値観を知ることができるのではないかと考えた。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 平日は午前中は大学の授業を受け、放課後は友達と過ごしたりホストファミリーと過ごししたりした。学校の授業は初めての1週間は神戸国際大学の学生だけのクラスで、それ以降は他大学と合同で学力別に振り分けられたクラスだった。オーストラリアの動物、文化、地理などをテーマに、ほとんどの授業がアクティビティ中心で行われた。放課後は友達とお昼ご飯を食べたり、フリーバスを利用してビーチやショッピングモールに出かけたりすることが多かった。夜ご飯はホストファミリーとその日あったことを話しながら食べ、食後は散歩やドライブ、テレビを見て過ごした。学校がない土日は友達とシドニーへ行って観光やショッピングをした。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | 1か月間オーストラリアへの海外研修を経験して、実際に母国とは違う言語、文化に触れることは大切だと感じた。自分が思っていたよりも英語で自分の考えや思っていることを伝えるのは難しく、伝えることの出来ないもどかしさを何度も経験した。また異なる文化を直接体験して、日本では当たり前だと思っていたことが当たり前でないと知り、日本のすごさと日本の抱える課題について気付かされた。例えば電車やバスが時間通りに来る、お店で注文した商品がきちんと届く、これらは改めて日本の良さだと気付かされた。しかし一方でジェンダーや環境問題については日本は遅れを取っているのではないかと感じた。この他にも日本を1歩出てみて実際に生活しないと気づけない日本のすごいところと、まだまだだなと感じるところはたくさんあると思う。自分の国についてもっと知るためには他の国の文化や価値観をより深く知ることが大切だと感じた。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 今回の海外研修を通してもっと英語でコミュニケーションを取れるようになりたいと思った。約1ヶ月オーストラリアで生活をしてみて英語で自分の思っていることを伝える難しさを改めて感じた。ホストファミリーや学校の先生、その他にも出会ったたくさんの人にもっと伝えたいことがあったのに自分の英語の能力がないために伝えることができなかった。次に海外に行った時に自分の思いをしっかりと伝えられるように、この悔しさをバネにさらに英語の学習に力を入れたいと思う。 |
| 5. 自由記述 | 今回の春期海外研修に参加することができて本当に良かったです。この留学を支えてくださったたくさんの方への感謝を忘れずこの研修での貴重な体験をこれからの自分の生活に活かしていきたいです。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者J】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私は英語を勉強することや、外国の文化、観光地に興味があり、実際に現地へ足を運んで日本ではできない体験をしたいと思い今回のプログラムに応募しました。また私は将来、国際的な仕事や観光系の職業に就きたいと考えており、今回の留学で英語力や異文化の理解を深める絶好の機会だと感じ、留学することを決めました。また、この留学を通してネイティブの英語に触れ、自分の実力を試してコミュニケーション力の向上を目指したいと思いました。そして、どこの国でも通用する英語力を身に付けたいと考えました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 授業は、1週目は神戸国際大学の留学生全員で受け、2週目以降はクラス分けがあり自分と同じレベルの他大学の留学生と同じクラスで受けていました。1週目の授業はオリエンテーションやオーストラリアに関するゲームなどをして学校に慣れるための準備期間のような週で、同じ大学のメンバーとの仲もそこで深まりました。2週目以降もゲームなどして楽しむ授業が多かったのですが、アボリジニなどのオーストラリアの文化を学んだり、自分の考えを自分が持っている英語の語彙力で伝える授業もあつたりして、1週目より深く勉強することができる期間になりました。 授業が終わると同じ大学の友達と学内でランチをして、フリーバスでビーチに行ったり、ショッピングに行ったりしていました。夜ご飯は基本的にホームステイ先でホストファミリーと一緒に食べていました。たまに外食にも連れて行ってくれ、ジャパニーズレストランにも行きました。また、週末も友達と動物園やシドニーで観光やショッピングをしていました。 大学に行く際は、毎日フリーバスと有料バスで登下校していました。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | 英語でのコミュニケーション力は、自分が目標としていたレベルまでは達成することができませんでした。多少の語彙力は身に付き、コミュニケーションもとれていたのですが、自分が日本語で考えてることや感情を英語に変換して話すには英語の語彙力が足りず、自分が伝えたいニュアンスで言葉を伝えることができなくて歯がゆい思いを何度もしました。しかし、間違いを恐れず自分の言葉でたくさん話してトライすることで、少しずつ話せる幅が広がり、初日に比べると成長できたように感じます。また異文化理解を深めたいという目標も、達成できたと感じます。授業でアボリジニの事や、オーストラリアの動物やスラッグについて学び、日常生活でも様々な国籍のルーツを持つ人たちと関わり、自然な形で理解を深めることができたのでよかったです。 また新しく発見したこともたくさんあります。電車が二階式になっていたり、お店の営業時間がとても短く20時頃には閉まっているお店が多かったり、寝る時間が早かったりと日本とは異なる文化を体験しました。また大学内にカフェやバー、セカンドハンドショップや子供たちのためのスペースがあったり、放課後フェスなどのイベントが開催されていたりすることにも驚きました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 語学力で悔しい思いをした分、より一層力を入れて英語の勉強に励みたいと思います。大学の授業で学ぶだけでなく、ボランティアなど身近な場所で英語を使う機会を自分で見つけて実践的に取り組めたらいいと考えています。また、今回よりも期間が長い留学プログラムに参加したいとも考えています。今回の経験を通して、実際に英語しか使えない環境に身を投じることが語学力取得の一番の近道だと強く感じました。大学では様々なプログラムを用意してくださっているので、自分の可能な限り留学に挑戦したいです。 留学を通して、気持ちにも大きな変化がありました。留学に行く前は、自分に自信がなく考えすぎてしまうことが多々ありました。しかしオーストラリアで1か月間生活をしてみて、今までよりも自分の気持ちをオープンにできるようになりました。ひとそれぞれの個性を認め合い、多文化共生しているオーストラリアだからこそ、私も自由に生活でき自然と前向きな気持ちになっていきました。私はこれから日常生活でもこの気持ちを忘れず、自信をもって自分の意見をはっきり伝えられるよう心がけていきたいです。 |
| 5. 自由記述 | 私は正直日本を立つ前はホームステイや学校生活、友達関係において不安が大きかったです。しかし、留学前では考えられなかったほど同じ大学のメンバーと仲良くなることができ、ホームステイも帰国する際には別れが惜しくて号泣するくらいとても素敵な方と生活することができ、新しくできた友達と毎日楽しく授業を受けることもできてとても充実した幸せな1か月間を過ごすことができました。この経験は私の人生においての財産です。このような機会を設けてくださった神戸国際大学、そしてこれまで留学の準備やサポートをしてくださった先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 4 月 4 日

海外留学成果報告書

【参加者K】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私は昔から英語が好きでした。苦手な勉強でも英語の勉強は苦ではありませんでした。また音楽や映画が好きで海外にとっても興味がありました。私は今回の留学で1つ目標を立てました。その目標はたくさんの人と話すという目標です。初めての海外で1ヶ月ということもあり、うまく喋れるようにならなくてもたくさんの人に話しかけようと思いました。積極的に話しかけた結果、たくさんの現地の人と話せて日本では経験できない様々な事を得る事ができました。また違う価値観や環境で1ヶ月過ごすというのは、私の人生で初めてだったので様々な事に気づきとても良い経験になりました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 初めの1週間は、同じ大学の人のみでの授業でした。先生がとても面白くて、活発的な授業が多かったです。内容として、オーストラリアの動物や地形についての授業が多かったです。そして2週目からそれぞれのレベルに合わせての授業になりました。英語の勉強を2週目から少し深く学びました。2組になり会話をすることが多かったです。先生も面白く楽しみながら学ぶことができました。そして昼からは、近くにビーチがあるので、ビーチによく行きました。またセントラルにショッピングモールがあり買い物によく行きました。ホームステイ先にご飯の前に帰り、ご飯を食べて、22時には寝ていました。オーストラリアは日本よりも寝るのがとても早いと思いました。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など | 私は、たくさんの人と話して、人の優しさに気づきました。海外は、怖い人が多いと思ってました。でも道に迷ったりわからない事があつたりすれば、迷わずに質問する事ができました。現地の方は、とてもフレンドリーで、道ですれ違う度に挨拶をしていました。日本でも明るい人が増えたら良いなと思いました。その反面で、電車やバスでは、寝ている人や、大声で歌っている人など様々な人がいました。日本では、考えられないことがたくさんありました。私は、世界には、様々な価値観や考え方があるのだと感じました。これは、オーストラリアの話で、違う国に行けば、また違うことが学べると思いました。これからの人生で私は、色々な国に行きまた違う経験をしたいなと強く思いました。私の目標としていた、たくさんの人と話すということは、達成できました。また朝のバスに乗っている時、眠そうな人が一人もいませんでした。日本の朝のバスや電車では、みんなが眠そうにしています。しかしオーストラリアでは、朝から元気そうで、自分も頑張れる気持ちになりました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 私は、この1ヶ月で、様々な人と出会いました。1番強く感じたのは、フレンドリーな人が多いことです。日本人の常識にとらわれず、積極的な性格になろうと思いました。そうすると自然に性格も明るくなり、人生も楽しくなると思います。また今回は海外に行くのが初めてでした。英語が分からないという事が、たくさんありました。次行く時にもっと楽しめるように、英語の勉強を頑張ろうと思いました。リスニングがとても難しく話しかけても聞き取れないという事がありました。リスニングは、何回も聞いて、繰り返し練習しようと思います。大学生のうちに、海外に行けたことは、とても良い経験で、良いモチベーションになりました。この気持ちを持続させ、英語の勉強に取り組みたいです。 |
| 5. 自由記述 | 私はこのプログラムに応募したとき、知り合いが誰もいなくて、とても不安でした。しかし、楽しくて、気づけば友達ができていました。行かせてくれた親や、サポートしてくれた先生方に感謝です。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 2 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 理由は、英語を上達させるためです。日本で英語を勉強するのと、実際に海外に行って現地で英語と触れるのではきっと違ってくるので今回迷いなく申し込みました。それと、昔から海外に興味があったので申し込みました。目標は、海外の友達を作ること、ホストファミリーと最高に仲良くなること、毎日英語で話すこと、公共の交通機関にいっぱい挑戦すること、一人でも旅行に行けるようにして帰ってくる。そして、将来はオーストラリアで就職したいと思っていたのでそれらのことも含めてちゃんと調べて帰って来ることでした。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 朝、7時に起きて用意して7時50分のバスに乗りました。朝食は自分でパンを焼いて食べました。30分バスに乗り学校につくと、8時半から授業が始まりました。授業内容は、オーストラリアの土地や食べ物、歴史や動物や歌などを勉強しました。週明けの授業では、土日に何をしたのかをクラスの前で発表しました。12時半に授業が終わり、友達と昼食を食べ、その後は海へ泳ぎに行ったり、大学にある卓球台で卓球をしたり、体育館を借りてスポーツをしたり、フリーバスでセントラルに買い物に行ったりしました。夕方くらいまで遊んで家に帰りました。19時頃、ホストファミリーとご飯を食べて、みんなでアイスを食べながら少し団欒をしていました。シャワーを浴び、21時にはみんな寝ました。 |
| 3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など | 英語に触れるという面では、結局日本人と一緒にいたのでホームステイ先以外ではあまり留学にきている実感がありませんでした。リスニング力はすごく身についたと思いますが、日本語で日本人と話していることが多かったです。新しく発見したことは、オーストラリアはクレジットカードがどこでも使えることです。日本では、「クレジットカードは使えますか？」と尋ねないといけないところもありますが、オーストラリアでは、クレジットカードが使えないところがないほど、ほとんどどこでも使えました。交通機関でも使えたのでとても便利だなと思いました。それと、水道水を飲むことができたことです。1日経つと変な味になりますが、その日の内にペットボトルで飲むのには支障はなかったので、とても助かりました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 留学を活かして、自分で海外に行けるように頑張りたいと思いました。ほんとに何とかかなと思いましたが、自分たちで旅行に行くというのはずっと夢でした。そして、日本で困っている外国の方を見つけたら、率先して助けに行きたいなとも思いました。オーストラリアで実感した、人の優しさを日本で返して行きたいと思いました。そして、将来はオーストラリアで働きたいと強く思ったので、そういった外資系の求人を見たいなと強く思いました。 |
| 5. 自由記述 | |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者M】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|----------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 経営 | 学科 | 1 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|---|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 自分は元々英語を話す事や聞くことが苦手で、それをいつかは克服したいと思っていました。後期に海外研修Aの授業が取ることができることをポータルサイトのお知らせを見て、すぐに行きたいと感じました。自分の留学の目的は、留学に行く前より喋れるようになることでした。また、目標として海外の私生活や文化を実際に体験し、これからの経験に生かしていくことでした。その他にも、海外の人達と交流を持ちコミュニケーション能力の向上に繋がっていきたいとも思っていました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 最初の1週間は神戸国際大学の学生たちだけの授業でした。最初の方の授業はオーストラリアの動物の名前やオーストラリアの音楽などを聞きました。初めて聞く動物の名前が多くて驚きました。次の週は他の大学からも学生が来ていたため、クラス分けがありました。3週目はオーストラリアの用語を用いた会話を聞いてどこがオーストラリア用語かを探すという授業でした。4週目も同じようにオーストラリア用語を用いた授業でした。生活面ではあまり大変ではありませんでしたが、物価が高かったです。お昼ご飯はいつも約20\$ほど使っていました。 |
| 3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など) | 今回の目標の達成度は結構高いです。しっかりと海外の私生活や文化を実際に体験してよく学べましたし、ちゃんと海外の人達とも交流をもつことができましたので達成度は高いと思いました。新しく発見したところは自分の言いたいことが伝わらなくても諦めずジェスチャーや伝えたい単語の1番重要な所を言えば通じるというところでした。またお店が閉まるのが早くみんな寝る時間も早い所にも驚きました。また水道水の水が飲めて感動しました。2日たってしまうと美味しくはないが1日以内であれば美味しく感じました。クレジットカードがどこでも使えて、とても便利でした。新しく感じたことは湿気が多いと思っていましたが、全く湿気を感じませんでした。また海の波がものすごく強く、天気がいい時の気温は41度もありました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 今後この留学の経験を活かし、街を歩いていても外国人に道を尋ねられたら、おそらく道案内はできると思います。オーストラリアで困っていた時に色々な方が率先して助けてくれたので、日本でもそのお返しをして行けたらいいなと思います。自分は将来海外系の仕事に就きたいと思っているので、留学の経験を活かし将来に繋げて行けたらいいなと思います。そのためにはもっと勉強をしないと行けないので、厳しい戦いになると思うんですけど諦めずに頑張りたいと思います。 |
| 5. 自由記述 | 日本に帰ってきてから、オーストラリアとの物価の違いで、金銭感覚が少し変わったように感じます。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 22 日

海外留学成果報告書

【参加者N】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 1 | 年 |
| プログラム名 | 春期英語研修(グループ型) | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 20 日 ~ 2023 年 3 月 17 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|--|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私が留学した理由は、海外の大学院で学ぶために英語力を鍛える必要があり、また留学を通じて自分の国際的な視野を広げたかったからです。同時に海外留学の経験は、海外の大学院に進学する際の後押しにもなります。私の今回の留学の目標は、海外で何の問題もなくコミュニケーションが取れるようになり、地元の人と交流できることです。もちろん違う国の友達もたくさん作りたいです。私は日常生活の中で違う文化を受け入れるのが好きなので、異文化交流を強く望んでおり、また留学後に英語力が大幅に伸びることも望んでいました。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | UOWの授業では様々なことに取り組みました。時々先生は映画を見に連れて行ってくださいました。グループに別れ英語でコミュニケーションを取ったり、先生に与えられた課題をグループのメンバーと一緒に解決したりしました。もちろん屋外で授業を受けることもあり、サッカーや、他のスポーツをしました。放課後に学校の休憩エリアに行って卓球とビリヤードをすることもあります。もし学校のピアノを弾く人がいなかったら、私はピアノを弾きに行きます。週末に友達とインドーに遊びに行きます。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など) | 今回の留学プログラムを通じて、私は自分の英語のコミュニケーション能力を大幅に向上させると同時に、国際的な視野を大きく広げ、留学中に様々な国の友達を作ることができました。また、オーストラリアのグルメや今まで聞いたことのない観光地をたくさん見つけました。今回の留学を通じてオーストラリア人の優しさや誠実さを発見しました。私のホストファミリーは英語を勉強する方法を教えてくださいました。それは、たくさん見て感じて、人とコミュニケーションを取ることです。おかげで私は英語を学ぶ新しい方法を身につけることができました。この留学の貴重な時間に、私もオーストラリア文化と日本文化の違いを感じました。中国人として中国とは違う二つの国の文化を感じることができてよかったです。将来海外の大学院に進学することに対しても自信を持つことができました。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | 私はもっと自分の英語を上達させて、他の留学プログラムにも参加したいと思います。次は今回とは違う国に留学したいので、すべての準備を頑張ります。同時に海外の大学院を受験することが私の究極の目標であり、違う国に留学するのもそのためです。だから私は英語を一生懸命勉強して、海外の大学院に申請する前に非常に高い英語の成績が取れるように努力します。英語だけでなく専門知識もしっかり勉強するつもりです。目標のために頑張りながら、これから前向きな気持ちで未来の毎日を過ごしていきたいと思っています。 |
| 5. 自由記述 | 他の留学プログラムに参加したい!□ |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 3 月 24 日

海外留学成果報告書

【参加者〇】

| | | | | | | |
|---------------|---|--------|-------------|----|---|---|
| 所属 | 経済 | 学部 | 国際文化ビジネス・観光 | 学科 | 3 | 年 |
| プログラム名 | 語学研修A | | | | | |
| 受講期間 | 西暦 2023 年 2 月 18 日 ~ 2023 年 3 月 18 日 (約4週間) | | | | | |
| 留学先 (国・地域) | オーストラリア | 留学先大学名 | ウーロンゴン大学 | | | |

| | |
|--|---|
| 1. 留学した理由、目的・目標 | 私がこのプログラムに参加した理由は高校卒業時からの夢であった海外留学を経験してみたかったからである。高校卒業後からコロナ禍になり、留学がなかなかできない中での今回のこのプログラムの開催ということで、初めての留学で不安もある中、グループ型というところにも魅力を感じこのプログラムへの参加を決めた。1ヶ月の留学ということで、語学力アップを含めた「経験をたくさんする」ということを主な目標としてこの留学に挑んだ。 |
| 2. 現地での活動内容 (授業や生活面など) | 現地では毎日午前中授業があり、その後の放課後は自分達で様々な予定を立て、二度と同じ生活リズムがないぐらい日々新たな経験をしていた。授業では週に一回ほど先生が変わり、先生によって個性のある様々な授業をして下さった。週末にはシドニーまで片道2時間ということもあり、毎週末小旅行のような気分を味わうことができた。平日の放課後はウーロンゴン周辺の地域で過ごすことが多く、ホストファミリーと出かける日もあれば、大学の友達同士で放課後の時間を過ごすこともあった。 |
| 3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など) | この留学プログラムを通して、オープンになることの大切さを学んだ。小さい頃から人見知りで引っ込み思案だった私は、この留学を通して「自分らしさとは何か」を内面的にも外見的にも考えることができた。観光で海外に来るだけではそれは分かり得なかったことだと考える。また、人の優しさにもたくさん触れることができた。それらは日本とオーストラリアのそれぞれの国の善悪を生活を通してからこそ発見できたことだと考える。そして、このグループでの留学を経験したからこそ、グループでの自分のあるべき立ち位置や協調性の大切さを再確認することができた。「経験をたくさんする」という目標に関しては、1ヶ月という期間の中では自分なりに最大限に達成することができたと思う。 |
| 4. 留学経験を今後、どのように活かしますか | この留学経験を、就職活動や人生生活に活かしていきたいと考える。就職活動では、海外での生活を経験したからこそ、自分が外国人であるという立場にもなったという経験から、顧客が海外の人であった場合にもどのような対応が適切なのかという気持ちが理解できるという長所をアピールすることができる。人生生活では異国の地で生活をしたことにより、意思疎通が思うようにできない時でも最低限の生活をしてこれたという自分自身への自信につながると考える。 |
| 5. 自由記述 | 今回の留学は1ヶ月という短い期間であったが、楽しさも大変さも感じた。もっと長い期間留学をすると大変さの方が多くなるのかも知れない。しかし、自分自身が留学をしたいという気持ちさえあれば、意思疎通がうまく取れるかわからないなど、どんな障害があろうとなるようになるし、あまり障害を重く捉えずに挑戦すべきだと考える。 |

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

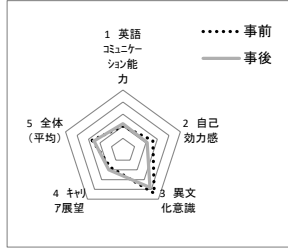
4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まらなくなっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2022年度後期 春期英語研修(グループ型) 参加前後における意識調査アンケート結果 対象者:15名

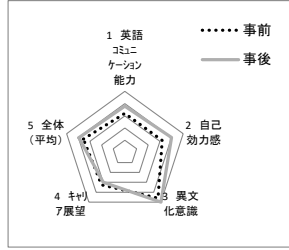
【参加者A】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.0 | 2.2 |
| 2 自己効力感 | 2.6 | 2.1 |
| 3 異文化意識 | 4.4 | 3.8 |
| 4 キャリア展望 | 1.8 | 2.0 |
| 5 全体(平均) | 2.7 | 2.5 |



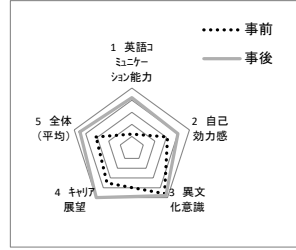
【参加者B】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 3.2 | 3.8 |
| 2 自己効力感 | 3.2 | 4.0 |
| 3 異文化意識 | 4.6 | 5.0 |
| 4 キャリア展望 | 3.3 | 3.0 |
| 5 全体(平均) | 3.6 | 3.9 |



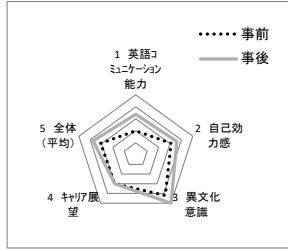
【参加者C】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 1.2 | 4.2 |
| 2 自己効力感 | 3.1 | 4.0 |
| 3 異文化意識 | 4.6 | 4.8 |
| 4 キャリア展望 | 3.5 | 5.0 |
| 5 全体(平均) | 3.1 | 4.5 |



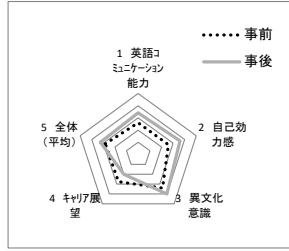
【参加者D】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.0 | 3.4 |
| 2 自己効力感 | 3.1 | 3.6 |
| 3 異文化意識 | 4.2 | 5.0 |
| 4 キャリア展望 | 3.0 | 3.0 |
| 5 全体(平均) | 3.1 | 3.7 |



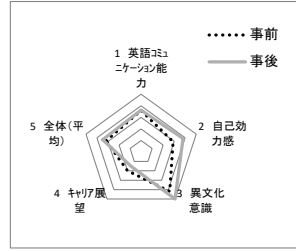
【参加者E】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.6 | 3.4 |
| 2 自己効力感 | 2.6 | 3.6 |
| 3 異文化意識 | 3.4 | 4.0 |
| 4 キャリア展望 | 2.8 | 2.0 |
| 5 全体(平均) | 2.8 | 3.3 |



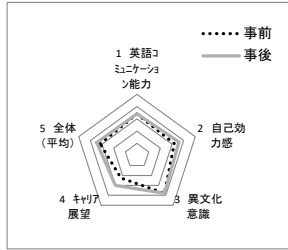
【参加者F】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 3.6 | 3.6 |
| 2 自己効力感 | 2.9 | 3.8 |
| 3 異文化意識 | 4.2 | 5.0 |
| 4 キャリア展望 | 2.0 | 1.5 |
| 5 全体(平均) | 3.2 | 3.5 |



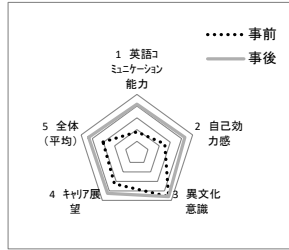
【参加者G】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 3.4 | 3.4 |
| 2 自己効力感 | 3.2 | 3.6 |
| 3 異文化意識 | 3.8 | 3.8 |
| 4 キャリア展望 | 2.3 | 3.0 |
| 5 全体(平均) | 3.2 | 3.5 |



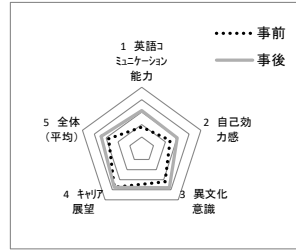
【参加者H】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 1.8 | 4.2 |
| 2 自己効力感 | 2.5 | 4.3 |
| 3 異文化意識 | 4.6 | 4.6 |
| 4 キャリア展望 | 3.3 | 4.3 |
| 5 全体(平均) | 3.0 | 4.3 |



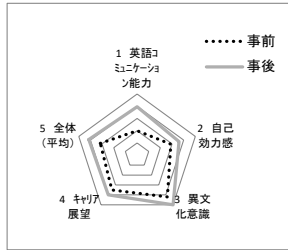
【参加者I】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 1.8 | 3.1 |
| 2 自己効力感 | 2.4 | 3.0 |
| 3 異文化意識 | 3.2 | 3.8 |
| 4 キャリア展望 | 3.8 | 3.8 |
| 5 全体(平均) | 2.8 | 3.4 |



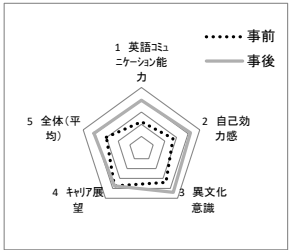
【参加者J】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.0 | 4.0 |
| 2 自己効力感 | 2.9 | 3.6 |
| 3 異文化意識 | 4.2 | 5.0 |
| 4 キャリア展望 | 3.5 | 4.0 |
| 5 全体(平均) | 3.2 | 4.1 |



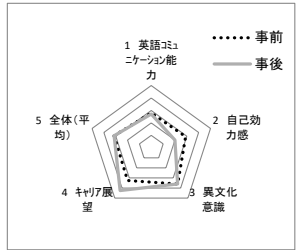
【参加者K】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.2 | 4.0 |
| 2 自己効力感 | 2.7 | 4.2 |
| 3 異文化意識 | 3.4 | 4.4 |
| 4 キャリア展望 | 3.8 | 3.8 |
| 5 全体(平均) | 3.0 | 4.1 |



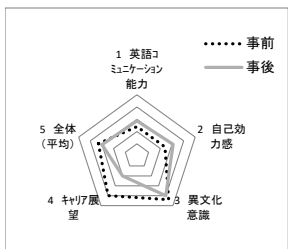
【参加者L】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.8 | 2.7 |
| 2 自己効力感 | 2.9 | 2.0 |
| 3 異文化意識 | 3.6 | 3.6 |
| 4 キャリア展望 | 3.3 | 4.3 |
| 5 全体(平均) | 3.1 | 3.1 |



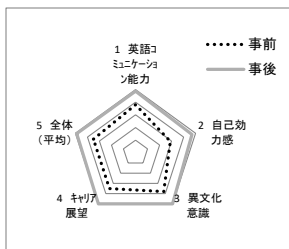
【参加者M】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.4 | 2.9 |
| 2 自己効力感 | 2.4 | 3.1 |
| 3 異文化意識 | 4.4 | 4.0 |
| 4 キャリア展望 | 4.0 | 2.0 |
| 5 全体(平均) | 3.3 | 3.0 |



【参加者N】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 3.8 | 4.9 |
| 2 自己効力感 | 2.9 | 4.7 |
| 3 異文化意識 | 3.8 | 5.0 |
| 4 キャリア展望 | 3.5 | 5.0 |
| 5 全体(平均) | 3.5 | 4.9 |



【参加者O】

| | 事前 | 事後 |
|-----------------|-----|-----|
| 1 英語コミュニケーション能力 | 2.2 | 3.4 |
| 2 自己効力感 | 2.6 | 3.4 |
| 3 異文化意識 | 4.0 | 4.0 |
| 4 キャリア展望 | 3.3 | 4.0 |
| 5 全体(平均) | 3.0 | 3.7 |

